LIQUID FUEL CELL

Patent number:

JP59180979

Publication date:

1984-10-15

Inventor:

NOMURA YOUICHI; others: 04

Applicant:

SHINKOUBE DENKI KK

Classification:

- international:

H01M8/04

- european:

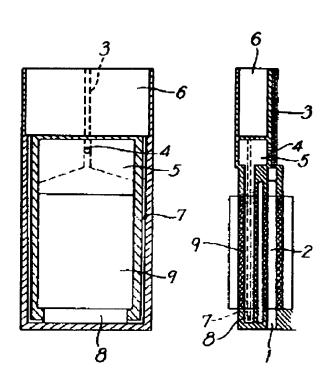
Application number:

JP19830054686 19830330

Priority number(s):

Abstract of JP59180979

PURPOSE: To facilitate fuel supply and the exhaust of fuel electrode reaction formation gas by keeping the inner part of a space provided at the upper part of a fuel electrode chamber in reduced pressure through a small hole by the jet effect of the fir flow passing through an oxydizing agent electrode chamber. CONSTITUTION: The upper part 5 of a fuel electrode chamber is pressure-reduced through a formation gas exhaust port 4 based on the same priciple as an ejector pump by entering a gas oxydizing agent for a liquid fuel cell from a flow inlet 1 to an oxydizing agent electrode chamber 2. On the other hand, the liquid fuel from a fuel tank 6 is guided into the lower part 8 of a fuel electrode chamber 8 through a flow path 7 and is introduced to a fuel electrode chamber 9 by the positional energy difference and the negative pressure of the upper part 5 of the fuel electrode chamber 5 and then the reaction formation gas is exhausted externally from the exhaust port 4. As a result, the water head required for fuel supply can be reduced by the pressure reduction using the ejector pump and the need for a pump with high exhaust performance can be eliminated.



Data supplied from the especenet database - Worldwide

BEST AVAILABLE COPY

69 日本国特許庁 (JP)

①特許出願公開

⊕公開特許公報(A)

昭59—180979

© Int. Cl.3 H 01 M 8/04 識別記号

庁内整理番号 J 7268-5H 愈公開 昭和59年(1984)10月15日

発明の数 1 審査請求 未請求

(全 2 頁)

砂液体燃料電池

傳特

顧 1图58-54686

竣出 颁 昭58(1983) 3 月30日

愈発 明 者 野村洋一

東京都新宿区西新宿二丁目 1 番

1号新神戸電機株式会社内

勃発 明 者 荒巻勲

東京都新宿区西新宿二丁目1番

1号新神戸電機株式会社内

急発 明 者 渡辺建一

東京都新宿区西新宿二丁月1番

1 号新神戸電機株式会社内

愈発 明 者 高堀好克

東京都新宿区西新宿二丁目1番

1号新神戸電機株式会社内

豫発 明 者 小質利明

東京都新宿区西新宿二丁目1番

1号新神戸電機株式会社内

愈出 胍 人 新神戸電機株式会社

東京都新宿区西新宿2丁目1番

1号

157) ME 174

- 1. 発明の名称 液体燃料塩物
- "2 特許請求の報園
 - 1) との気にも破累等の気体酸化剤をよび水井気 等の気体の酸化剤模反応生成物が、酸化剤模 室を気流として透過する構造を育する液体型 内的地のにいて、燃料核変上離に空間を設け、 放空間の酸化剤検査との腐壁にかれを設け、 上記酸化剤検査を通過する気みの堕落の効果 によりよ配小孔を適じて上記燃料検索上限に なけた空間内を減圧に促ってよによって認用 の供給のよび必科 極度 花生成 ガスの提出を容 長れすることを特徴とする破場機利電池。
 - 2) 前記的化別核室を通過する別型の故路中に を結節を設けることを特定とする時内結束の 額佐第1年記載の蔵体器料料池。
 - 3)的記述化制機室を顕微する気能の発生方法が、酸化制機室の気流の出口側にダクトを取り、毎旬排気するとどを特徴とする物の形容

の範囲第1項記載の確保燃料監修。

- 4) 阿記酸化型医室を造過する気視の発生方法 が、異色の発動を利用した歴史効果であるこ とを特徴とする特許結束の範囲第1項記載の 能体器料剤法。
- 3 整明の評価な説明

本発明は確体機料電池に関し、特に能体機料の供給方法と燃料体における生成カスの提出方法に関するものである。

従来、高体然料準他における政体網料の供給方法はマニキールドを載ける場合とかった。しかしたの方にではマニホールド内の圧力組 失事によって多数情報された各単電性にかかる水腹が異り、最も小さな永緩のかかる中電性に必要は 循環間 を降低するため、必要以上に大きな明由能力を省するボンプの使用を允諾なくされてきた。

を発明の目的は上記の間隔点を解決し、大きな思出版力を行するポンプを思いることなく思 料の供給を行なうことである。 上にの目的を達成するために、本類明日酸化 可様空を通過する気波を利用したニジェクター ボンブを設け、波ボンブによる減圧によって燃 内供的に必要な水温を整成しようとするもので

次に不起明の一変血例を説明する。

本日便は本発明になる複体総数に進むを構成する。 で用意たの数面関、第2回にメナノー ~ 等の機 時度である。如体能化利益酸化剂の一、大口、外 ので、変し、対体能化利益酸化剂の一、大口、外 ので、変し、ときこの、カラーボングが のの原産により生成ガスが出来した。 のの原産により生成ガスが出来した。 のの原産により生成ガスが出来した。 のの原産により生成ガスが出来した。 のの原産により生成ガスが出来した。 のの原産により生成ガスが出来した。 のの原産により生成がスが出来した。 が出来がある。 がれまがある。 がはは、 がれまでは、 がれまでは、 がれまが、 がれなが、 がれなが、 がれなが、 がれなが、 がれまが、 がれなが、 がれなが、 がれなが、 がれなが、 がれなが、 がれなが、 がれなが、 がれ

上近のようは、草発照によれば、火肚田能力

等期間59-180979(2)

のポンプを用いることなく各単電池 化燃料を供給することが可能である点、工能的価値が大である。

4. 脳面の簡単は説明

第1級日本犯明になる政体既特別治を構成する単層地の新面図、第2回は総科技会、第3切は総科技会、第3切は総科技会、第3切は政化科技会を示すそれぞれ原面図である。

1 に即化制成人口、2 は酸化制協能。 3 は陰陽、4 は生成ガス利出口、5 に燃料格を上離、6 に燃料タンク。7 に燃料気候、8 は燃料模能 下部、4 は燃料板室

65 Bi 111 Bi A

斯种伊斯提格式会社

代表取稀数 石 境 武士



